

令和2年 6月 1日

愛知大学同窓会

小牧支部会報

第5号

～ごあいさつ～



支部長八尾弘

小牧支部会員の皆様今日は。
日頃は小牧支部同窓会の行事運営に多大なるご協力を賜り誠に有難うございます。

戦後最大の試練と云っても過言でない新型コロナウイルスの感染拡大は、我が国はもとより、世界各国に大変な勢いで蔓延しています。

人類は、有史以前から感染症との闘いを繰り返してきたが今もって感染の脅威から逃れることはできていない。新型コロナの感染拡大は、それを浮き彫りにしているが、一日も早く世界各地に蔓延しているコロナ感染の終息を祈るばかりであります。

さて、私共の同窓会活動運営状況は年々厳しい状況が続いて居ります。

本来、大学の同窓会活動とは理想として①卒業生の思い出を預かる場所②卒業生相互の懇親を深める場所③同窓会は卒業生と大学の間のコミュニケーションをつなぐ場所④卒業生が母校の発展に協力していく場所であると思います。

この様な同窓会活動の役割を少しでも実現を図るため、小牧支部では年間行事として1月会員親睦新年会 4月会員勉強会(歌舞伎を学ぶ、コロナ感染の為中止)7月会員相互親睦会(バーベキュー大会予定) 10月支部総会 11月社会体験日本酒造り 12月会員親睦忘年会等を計画しております。
是非、小牧支部の会員の皆様のご参加を心からお待ちしております。

今後共、小牧支部は会員相互の交流と親睦を計り、活気あふれる同窓会活動を推進してまいりますのでどうか会員皆様方の絶大なるご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

【イベントレポート ①】

日本酒造り体験 報告

令和元年 11 月 24 日(日)、恒例となりました「日本酒造り体験」を開催しました。

近隣支部役員の方々もお招きし会員 14 名で出かけました。

当日は、従来の日程を変更し、午前中は稲武の紅葉スポットで有名な大井平公園を散策し、名倉川と美しい紅葉など風情あふれる景色を楽しみました。



昼食は、近隣の料理旅館の岡田屋さんで懇親会。関谷醸造さんからの差し入れの日本酒と地元の素材を生かした懐石料理を味わいながら、カラオケもあり大いに盛り上がりました。



午後から関谷醸造、遠山専務さんの日本酒講座の後、蒸米の放冷作業からスタートし、洗米や酒造り行程の現場説明、もろみ仕込み作業などを体験しました。



オーダーメイドの日本酒は正月前には自宅に届き、特に生酒はとともフルーティーな味わいで美味しくいただきました。

【イベントレポート ②】

令和初の新年会

令和2年1月18日、令和初の新年会が『しめやか』に行われました。
次回は、去年やり忘れた、令和初の忘年会となりませう。



みんな大好き焼き肉 しりん亭

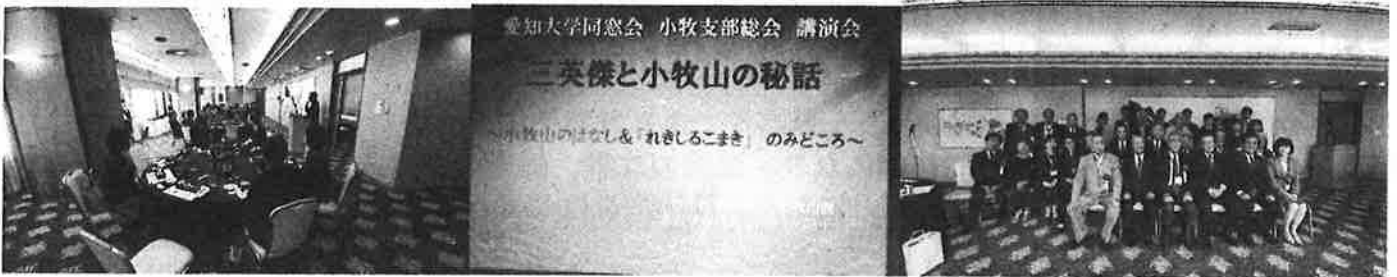
とはいえ、酒豪揃いでございます

毎年、忘年会か新年会をやってます

【ご報告】

定期総会を開催致しました。

令和元年10月27日名鉄小牧ホテル内『喜楽』にて、2年ごとの定期総会を開催致しました。
当日は議事も滞りなく進行し、小牧市教育委員会小牧山課考古学専門員の小野友記子先生による講演会「三英傑と小牧山の秘話」が行われました。



【お知らせ】 小牧支部ホームページを開設しました。

小牧支部もIT革命？

小牧支部のイベントやお知らせ等、いつでも・どこでも・どなたでも 確認することができます。

愛知大学同窓会小牧支部ホームページ もしくは aidaikomaki.com にて検索下さい。

※スマートフォンでもご覧頂けます。 本会報をカラーにて公開しております。



QRコードでも検索可能です。

『歌舞伎』と聞いて、解らないもの、難しいもの、私たちには全く関係ないものと思っ
ていませんか？実は、深く関係しております。

私は、昭和 39 年小牧で生まれました。当時同居していた祖母は、幼少期の私を連れてよく御園
座へ出かけ、それが歌舞伎との出会いとなりました。

米野小学校、応時中学校、小牧高校を卒業、愛大豊橋校舎に入学、ワンダーフォーゲル部に所
属し、卒業後は株式会社御園座に入社しました。

今から 30 年前の御園座は、まだ企業の慰安会、招待会、郵便局の簡易保険の観劇会など団体 7
割、個人 3 割の時代で、劇場は御園座、中日劇場、名鉄ホールの 3 劇場が、それぞれの劇場の構
造に合わせた個性あふれるラインナップの興行をしていました。

御園座は、年二回の松竹新喜劇、年一回(10 月の吉例顔見世)歌舞伎、東宝(株)による森繁久弥
さん、十朱幸代さんによる文芸作品などの制作会社からの買興行と、五木ひろしさん、杉良太郎
さん、里見浩太朗さんなど御園座制作による 2 本柱の公演でした。

私は、入社してすぐ営業課に配属、セールスをするにあたり、商品知識として日本の伝統芸能で
ある歌舞伎を勉強することにしました。

毎月東京・歌舞伎座に通いました。そのころから演劇界も変化の兆しがあり、劇団四季による
ミュージカルのロングラン公演、名古屋の劇場にもミュージカル上演の話が。

私もミュージカルの本場ブロードウェイ、そして翌年にはロンドン・パリに劇場研修に行きま
した。私は同窓会文化委員会にも所属していましたので、文化委員会行事としての中国旅行にも
参加し、万里の長城、明の十三陵、三峡下り、上海交通大学、南開大学に行くことが出来ました。

海外から日本をみるという経験は、伝統芸能である歌舞伎の良さを再発見する事になりました。
御園座での配属も営業部から制作部になり、公演の立案、俳優の受け入れ、稽古の立会い、舞台
の仕込みなど、裏方の仕事をする事になり、歌舞伎をはじめ、舞台についての専門的な知識を
得ることになりました。

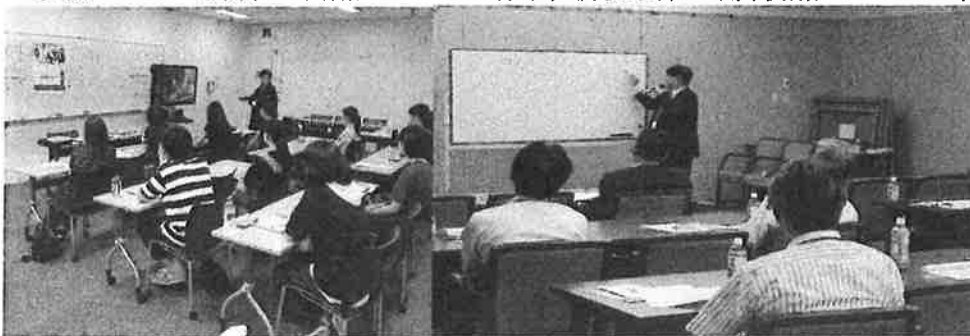
郵政民営化によって、簡易保険の観劇団体がなくなることになり、演劇界も大きく変化してい
きました。簡易保険依存していた劇場は経営危機に陥り、名鉄ホールが閉館。御園座も経営危機
になり、私は御園座を去る決意をすると同時に、改めて『歌舞伎の学校』を立ち上げる決意をし
ました。

『歌舞伎の学校』では、御園座で身に着けた歌舞伎の知識をもとに、歌舞伎を通して、また、
歌舞伎を学ぶことによって、日本文化に興味を持ってもらうことを主体に活動しています。
愛大では、教職センターや青年経済倶楽部で歌舞伎講座及び、歌舞伎の化粧体験をさせて頂いてます。

教職センター歌舞伎入門講座

青年経済倶楽部・歌舞伎講座

筆者が校長を務める「歌舞伎の学校」



KABUKI
NO 歌舞伎の学校
I GAKKOU
LECTURES THE JAPANESE TRADITIONAL ART

歌舞伎の学校は、歌舞伎を通して、
日本文化の普及を目的として活動しています。

<http://kabukinogakkou.jp>

